

目次

[特集1] 啓蒙主義の時代における神秘主義思想：ヨーロッパ文化のもう一つの思想的潮流	
サン＝マルタンにおける〈植物的〉思考	今野喜和人 …… 3
「ハルモニアの形而上学」と啓蒙思想	
—— 18世紀から19世紀初頭のドイツ語圏における対位法をめぐる言説を中心に ——	大角欣矢 …… 15
「非物質的世界のひとつの巨大な総体」というトポス	
—— キリスト教カバラ、動物磁気、集合的無意識 ——	坂本貴志 …… 39
[特集2] 近代とミュージアムの成立	
言語というアーカイヴ —— ベンヤミンの「蒐集」をめぐる ——	岡本和子 …… 57
ミュージアムの成立と展開 —— 19世紀、近代における学の成立とミュージアム ——	種田 明 …… 77
歴史家としてのヴィンケルマン —— バロックと古典主義の交錯するところ ——	小田部胤久 …… 93
[研究会報告]	
近代的テキスト批判・史料批判の方法とその実践	
—— 教会法史における史料研究の現場から ——	源河達史 …… 111
19世紀および21世紀におけるグラーツィアーヌス教令集の校訂	
—— リヒターとフリートベルクから今日まで ——	アンダース・ウィンロース (松本英実 訳) …… 113
音楽におけるコメモレーション —— 18、19、20、21世紀の「音楽と社会」 ——	
	松本 彰 …… 123
[論文]	
「19世紀学」・ヨーロッパ・歴史学	
—— オスターハンメル『世界の変貌：一つの19世紀史』を手がかりに ——	森田直子 …… 127
[書評]	
遅塚忠躬『史学概論』（東京大学出版会 2010年）	池田嘉郎 …… 147
Eberhard Straub, <i>Die Furtwänglers. Geschichte einer deutschen Familie</i> , München 2007	曾田長人 …… 155
[補遺]	
『親和力』四元素の生理と物理 —— ゲーテ読解への補遺 ——	松井尚興 …… 165
[活動報告] ……	169

